



さあ、
新しい次元へ。

日産 ゾーベックエンテクタ™ SE

園芸用殺菌剤

予防効果が長く持続する。

2種の有効成分のはたらきにより、疫病、べと病への高い効果

その理由は

- 耐雨性に優れる
- 浸達性(葉表から葉裏への移行)にも優れる
- 新展開葉へも効果を発揮する



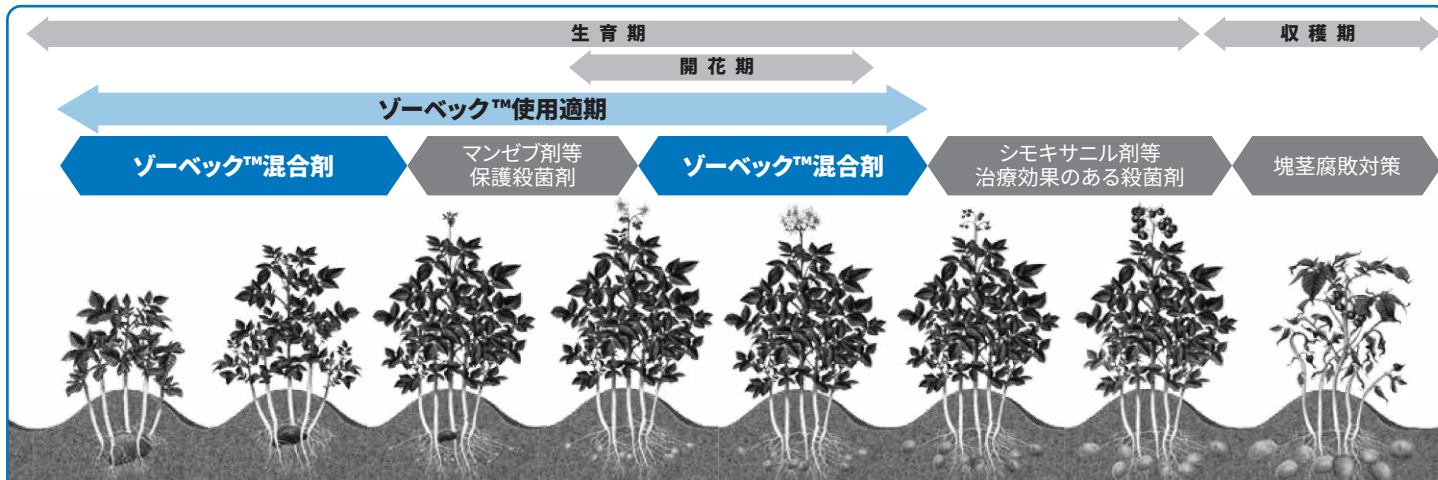
**ばれいしょに
無人航空機で
散布できます!**



ゾーベックエンテクタ™SEは、

①耐雨性に優れる ②浸達性にも優れる ③優れた浸透移行性で新展開葉へも効果を発揮する

これらの特長により「予防効果が長く持続する」べと病・疫病用殺菌剤です。
だから、作物の生育の旺盛な時期、効果の持続性が必要な時期の防除に適しています。



開花までの栄養成長期には次々と新しい葉が伸びてくるため、殺菌剤のかかっていない新葉部分から疫病に感染することがあります。この時期には、新葉まで保護できるゾーベック™が適しています。生育期の前半にしっかりと予防防除をしておくと、圃場全体の菌密度が下がり、後半の防除がしやすくなります。また、臨機防除の必要性を下げることもつながります。

■適用病害と使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アミスルブロムを含む農薬の総使用回数	オキサチアピプロリンを含む農薬の総使用回数
ばれいしょ	疫病	3000倍	100～300ℓ/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	5回以内 (植付前は1回以内、 植付後は4回以内)	3回以内
		750倍	25ℓ/10a			無人航空機による散布		
		80倍	3.2ℓ/10a					
		40倍	1.6ℓ/10a					
たまねぎ	べと病	3000倍	100～300ℓ/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	3回以内	2回以内
キャベツ							8回以内(苗床での土壌混和は2回以内、 灌注は1回以内、本圃での土壌混和は2回以内、散布は4回以内)	
ブロッコリーはくさい							7回以内 (土壌混和は2回以内、 灌注は1回以内、散布は4回以内)	
レタス 非結球レタス							3回以内	
きゅうり メロン		4000倍		収穫前日まで			4回以内	
トマト ミニトマト	疫病							

■効果・薬害等の注意

●使用前によく振って薬液が十分懸濁されていることを確認してから使用してください。●使用量に合わせ薬液を調整し、使いきってください。●石灰硫黄合剤やボルドー液等アルカリ性農薬との混用はさけてください。●散布液調整後はできるだけ速やかに散布してください。●使用液量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び使用方法に合わせて調節してください。●散布にあたっては、風向きなどに注意し、薬液が周辺の作物に飛散してかからないように十分注意してください。●耐性菌管理の観点から、育苗期間中は本剤を使用しないでください。●ばれいしょに対して希釈倍数750倍で散布する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した兼用型の速度運動式地上液剤散布装置を使用してください。●メロンに使用する場合は、高温時に散布すると葉に薬害を生じることがあるので注意してください。また、薬害を助長することがあるので着着剤の加用はしないでください。●本剤を無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意事項を守ってください。●散布は各散布機種の散布基準にしたがって実施し

てください。●散布機種に適合した散布装置を使用してください。●散布中、薬液が漏れないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。●散布薬液の飛散によって動植物の被害や自動車の塗装等に被害を与えるおそれがあるなど、各分野に影響があるので、散布区域内の諸物件に十分留意してください。●本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

■安全使用上の注意

●誤飲などのないよう注意してください。●本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。●本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。●付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。●直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管してください。

■ゾーベック™耐性菌管理方針

殺菌剤分類 49, 21

●疫病、べと病に有効な異なる作用性の殺菌剤と組み合わせた体系(ローテーション散布)で使用してください。●殺菌剤分類(FRACコード)49の有効成分を含む薬剤(本剤を含む)の使用回数は総防除回数の1/3を超えないようにしてください(疫病、べと病の防除が3回以内であれば1回まで)。●本剤は病気が発生する前に、予防的に散布してください。病気発生後の散布では十分な効果が得られません。また耐性菌の発生を助長する恐れがあります。●本剤は栽培期間の前半に使用してください。有効成分による作物保護効果が長く発揮されるだけでなく、耐性菌発生リスクが抑えられます。●殺菌剤分類(FRACコード)49の有効成分を含む薬剤(本剤を含む)は定植前の苗には使用しないでください。

Corteva AgriscienceはFRACメンバーでその活動を全面的に支持しており、前記のゾーベックエンテクタ耐性菌管理方針は上述した考え方に則って作成されています。FRACに関する参照サイト

(1) Fungicide Resistance Action Committee (FRAC) ウェブサイト(英語) <http://www.frac.info/home>
(2) Japan FRAC 殺菌剤耐性菌対策委員会 ウェブサイト(日本語) <http://www.jcpa.or.jp/labofrac/>

●ラベルをよく読んでください。 ●記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。
●空容器は、ほ場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。 ●防除日誌を記帳しましょう。

本資料は2024年12月末日現在の知見に基づき、作成されています。



日産化学株式会社

東京都中央区日本橋二丁目5番1号

ホームページ <https://www.nissan-agro.net/>

お客様窓口 TEL.03-4463-8271(9:00～17:30 土日祝日除く)

ZET-FHP5A北